

新潟米 マンスリーレポート

(令和3年8月号)

《今月の特集①》

国の概算要求について

8月31日に、国の令和4年度予算の概算要求が公表されました。

このうち、水田活用の直接支払交付金の要求の概要とポイントは、次のとおりです。

2 水田活用の直接支払交付金

【令和4年度予算概算要求額 332,000 (305,000) 百万円】

＜対策のポイント＞

米政策改革の定着と水田フル活用の推進に向け、食料自給率・自給力の向上に資する**麦、大豆、飼料用米等の戦略作物の本作化**とともに、地域の特色をいかした**魅力的な産地づくり、高収益作物の導入・定着**等を支援します。また、新たな需要拡大が期待される**新市場開拓用米**等について、**産地と実需者との連携に基づいた低コスト生産の取組**を支援します。

＜政策目標＞

- 麦・大豆等の作付面積を拡大（麦30.7万ha、大豆17万ha [令和12年度まで]）
- 実需者との結びつきのもとで、需要に応じた生産を行う産地の育成・強化
- 飼料用米、米粉用米の生産を拡大（飼料用米：70万トン、米粉用米：13万トン [令和12年度まで]）
- 飼料自給率の向上（34% [令和12年度まで]）

＜事業の内容＞

1. 戦略作物助成

水田を活用して、**麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米**を生産する農業者を支援します。

2. 産地交付金

地域の作物振興の設計図となる「水田収益力強化ビジョン」に基づき、高付加価値化や低コスト化を図りながら、地域の特色のある魅力的な産品の産地を創造するため、**二毛作や耕畜連携**を含め、**地域の裁量で産地づくりに向けた取組**を支援します。

3. 水田リノベーション助成

産地と実需者との連携の下、**新市場開拓用米等の低コスト生産の取組**を行う農業者を支援します。

4. 水田農業高収益化推進助成

都道府県が策定した「水田農業高収益化推進計画」に基づき、**高収益作物の導入・定着**を図る取組を支援します。

5. 都道府県連携型助成

都道府県が**転換拡大**に取り組む生産者を**独自に支援**する場合、**国が追加的に支援**します。

＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】 農産局企画課 (03-3597-0191)

＜事業イメージ＞

戦略作物助成 ※1

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物※2	3.5万円/10a
WCS用稲	8.0万円/10a
加工用米	2.0万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、5.5万円～10.5万円/10a※3

産地交付金 ※1

- 国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会毎に「水田収益力強化ビジョン」において支援内容（対象作物や単価等）を設定（一定割合以上は都道府県段階で支援内容を決定）。
- また、当年産のそば・なたね、新市場開拓用米、地力増進作物※4の作付（基幹作のみ）に応じて資金枠を追加配分（配分単価：2.0万円/10a）

水田リノベーション助成 ※5～※7

- 産地単位でまとまって、実需者との連携の下、対象作物（新市場開拓用米等）の低コスト生産に取り組もうとする地域農業再生協議会が「産地・実需協働プラン」を策定。
- プランの内容（低コスト生産の取組や対象作物の拡大割合等）に応じてポイント付けを行い、予算枠の範囲内で助成対象となる協議会を決定。当該協議会のプランに位置づけられた農業者の取組面積に応じて支援。

水田農業高収益化推進助成

- 「推進計画」に位置付けられた産地における以下の取組を支援。
 - ① **高収益作物定着促進支援**（2.0（3.0※8）万円/10a×5年間）高収益作物の新たな導入面積に応じて支援。（②とセット）
 - ② **高収益作物畑地化支援**（17.5万円/10a）高収益作物による畑地化の取組を支援※9。
 - ③ **子実用とうもろこし支援**（1.0万円/10a）子実用とうもろこしの作付面積に応じて支援。

都道府県連携型助成

- 都道府県が転換作物を生産する農業者を独自に支援する場合に、当該支援の対象農業者に対して、前年度からの拡大面積に応じて、都道府県の支援単価と同額（上限：5千円/10a）で国が追加的に支援。

【下線部分は拡充・変更点】

※1：長期間水田（水稲作付）として活用されていない農地の扱いについて、予算編成過程で検討

※2：飼料用とうもろこしを含む

※3：標準単収以上の収量が確認された者には、自然災害等の場合でも、特別措置として、標準単価（8万円/10a）で支援

※4：有機栽培や高収益作物等への転換に向けた土づくりの取組

※5～※7：農業者等が実需者と販売契約を締結することが必要

※6：対象作物、交付単価は予算編成過程で検討

※7：本助成の対象となった面積は、戦略作物助成・産地交付金追加配分の対象から除外

※8：加工・業務用野菜等の場合

※9：R5年度までの期限措置とし、その他の転換作物に係る畑地化も同様の単価で支援

＜概算要求のポイント＞

- ① 令和2年度に補正事業として措置された「水田リノベーション事業」が、水田活用の直接支払交付金において、「水田リノベーション助成」として新設されています。
- ② 有機栽培や高収益作物への転換に向けた土づくりの取組として、地力増進作物の作付けに応じた追加配分が新設されています。

※ 事業の内容は、今後の予算議論により変更される可能性があります。

- 今後、具体的な制度設計の動きを見極めながら、効果的に制度を活用し、需要に応じた米づくりに取り組みましょう。

《今月の特集②》

地域協議会による令和3年産米の需要に応じた生産の取組事例

令和3年産米は過去最大規模の転換が必要な状況の中で、各地域協議会において様々な手法で転換に取り組んでいただきました。先般、柏崎市地域農業再生協議会・刈羽村地域農業再生協議会と意見交換を行ったので、その内容を紹介させていただきます。

R3年度の需要に応じた生産を推進するにあたって工夫したことや、うまくいったことを教えてください。



関係機関が集まり、まず、当地域での取組方針をしっかりと共有しました。その後、農業者全員への周知を図るとともに、推進対象に選定した法人や大規模生産者を対象に、個別訪問での働きかけも行いました。



農業者への説明に当たっては、具体的な数字を提示することを意識しました。過去の経緯から25、26年産くらいまで米価が下がることが懸念されたため、「米価下落に左右されない収入」を合い言葉に、主食用米、飼料用米、加工用米などについて、水田リノベーション事業等の各種補助金・交付金も踏まえた収入試算を農業者に提示して転換を働きかけました。

また、当地域ではJAを中心に方針作成者が連携し、地域一体となって農業者への声かけを行いました。

農業者はどのような反応でしたか？



試算に用いた主食用米の価格は、あくまでその時点での予想でしたが、非主食用米は交付金等での安定した収入が見込めるため、農業者からは転換の必要性を理解していただきやすく、結果的に需要に応じた生産を円滑に進めることができました。



どのような品目に転換されましたか？



水田リノベーション事業の取組推進により、加工用米や新市場開拓用米は大幅に取組が増加しました。前年に比べ価格が下がりそうだったので、地域に配分される産地交付金の拡大加算を活用して支援しました。

また、規模拡大・集約を進めている農業者にとっては、飼料用米は栽培が比較的容易であり、今後も生産面からも取り組みやすいと考えています。



関係機関が一体となって生産者への働きかけを行うとともに、具体的な収入試算を提案したことで、生産者が動いてくれたんですね。やはり、経営判断に必要な情報を提供することは重要ですね。協議会の皆様、意見交換にご協力いただきありがとうございました！



新潟米の販売状況

概況

在庫量が増加していることなどから、令和3年7月の2年産新潟米の相対取引価格は前年同期に比べ、新潟一般コシヒカリが60kgあたり1,527円、魚沼コシヒカリが1,033円下回っている。

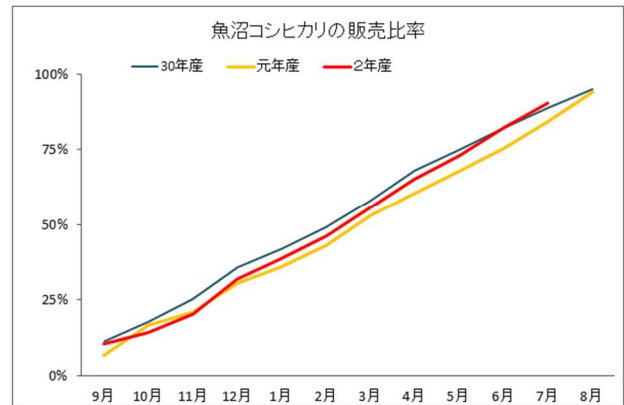
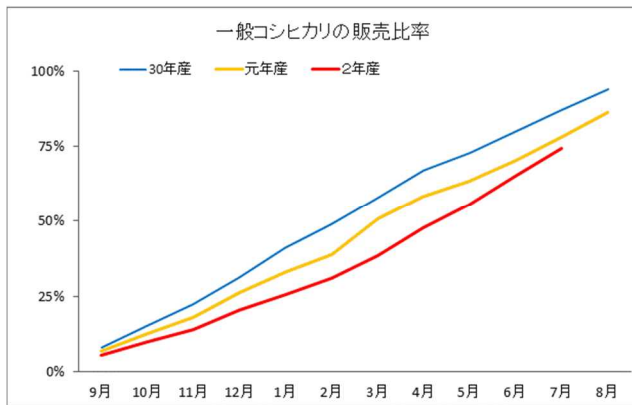
販売比率

(1) 一般コシヒカリ

7月末現在の2年産一般コシヒカリの販売比率は74%となっており、元年産比4ポイント減、30年産比13ポイント減となっている。

(2) 魚沼コシヒカリ

7月末現在の2年産魚沼コシヒカリの販売比率は90%となっており、元年産比6ポイント増加、30年産比1ポイント増加となっている。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	30年産	8%	15%	22%	31%	41%	49%	58%	67%	73%	80%	87%	94%
	元年産	7%	13%	18%	26%	33%	39%	51%	58%	63%	70%	78%	86%
	2年産	5%	10%	14%	21%	26%	31%	39%	48%	56%	65%	74%	
魚沼 コシヒカリ	30年産	11%	18%	25%	36%	42%	49%	58%	68%	75%	82%	89%	95%
	元年産	7%	16%	21%	30%	36%	43%	53%	60%	68%	76%	84%	94%
	2年産	10%	14%	20%	32%	39%	46%	56%	65%	73%	82%	90%	
岩船 コシヒカリ	30年産	5%	15%	23%	31%	36%	45%	54%	67%	74%	80%	89%	98%
	元年産	5%	11%	16%	24%	29%	34%	43%	52%	57%	67%	80%	88%
	2年産	5%	11%	17%	25%	33%	38%	46%	54%	59%	66%	75%	
佐渡 コシヒカリ	30年産	7%	23%	27%	36%	46%	52%	60%	67%	76%	81%	88%	94%
	元年産	7%	19%	22%	28%	35%	46%	58%	63%	70%	76%	85%	92%
	2年産	3%	14%	20%	28%	35%	44%	54%	61%	70%	77%	84%	

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、販売比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。

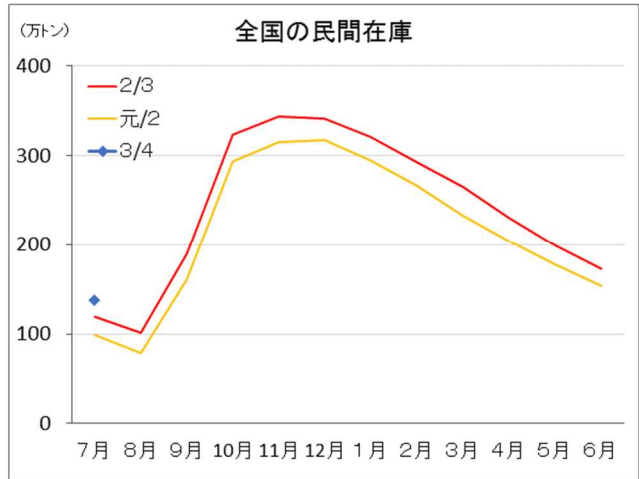
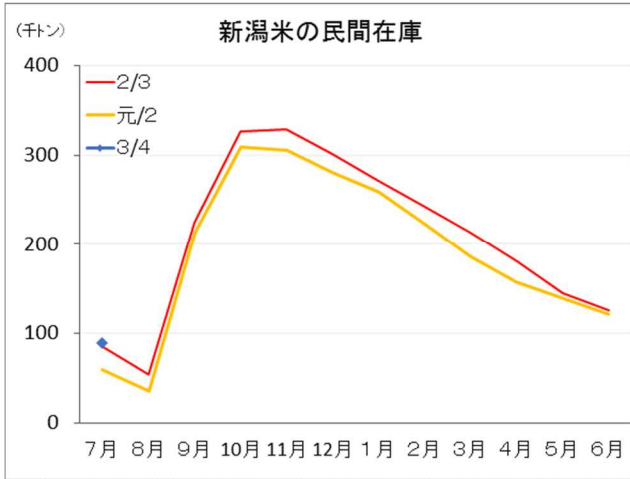
在庫状況

(1)新潟米

7月末現在の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月から4千トン増、前々年同月から30千トン増の89千トンとなった。

(2)全国

7月末現在の全国の民間在庫(うるち米)は、前年同月から19万トン増、前々年同月から39万トン増の138万トンとなった



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	元/2	59	35	214	309	306	281	259	224	186	157	139	122
	元 年 産 米	0	1	194	293	294	273	253	219	183	155	137	120
	1年古米(30年産)	58	34	19	16	12	8	6	4	3	2	1	1
	2/3	85	54	225	327	328	301	271	243	213	180	145	125
	2 年 産 米	0	0	189	298	304	282	256	231	203	172	139	120
	1年古米(元年産)	84	53	36	28	24	19	15	12	10	8	6	5
	3/4	89											
	3 年 産 米	0											
	1年古米(2年産)	85											
全国	元/2	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
	元 年 産 米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
	1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
	2/3	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
	2 年 産 米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
	1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
	3/4	138											
	3 年 産 米	0											
	2年古米(元年産)	129											

資料：農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

- 注：1 出荷段階及び販売段階における水稲うるち米及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の玄米仕入量が500トン以上)である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

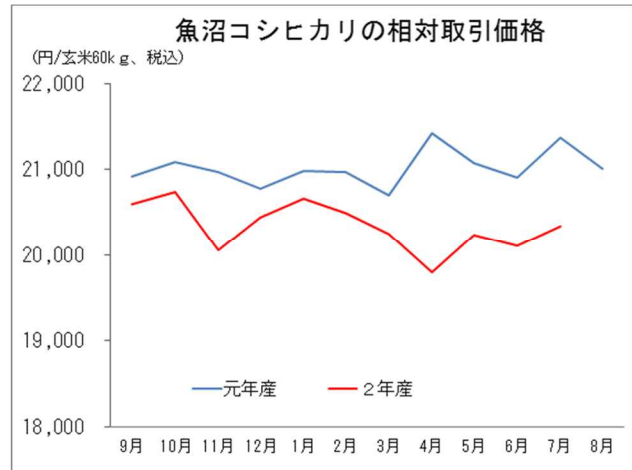
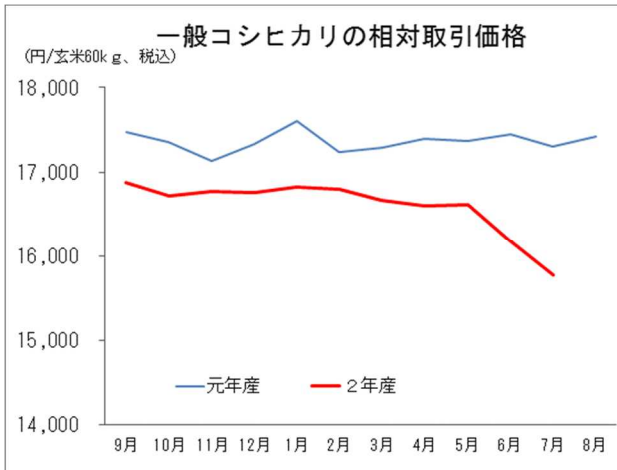
相対取引価格

(1)一般コシヒカリ

7月の一般コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ1,527円下回り、15,776円(玄米60kg、税込)となった。

(2)魚沼コシヒカリ

7月の魚沼コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ1,033円下回り、20,337円(玄米60kg、税込)となった。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944	16,929	16,718	17,130	17,020
	元年産	17,471	17,353	17,126	17,334	17,604	17,239	17,294	17,396	17,366	17,453	17,303	17,414
	2年産	16,871	16,713	16,776	16,761	16,828	16,794	16,666	16,605	16,612	16,176	15,776	-
魚沼コシヒカリ	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,462	21,528	21,695	21,699	21,458	21,735
	元年産	20,919	21,085	20,971	20,782	20,980	20,973	20,694	21,416	21,078	20,908	21,370	21,008
	2年産	20,595	20,733	20,049	20,437	20,665	20,492	20,249	19,795	20,228	20,098	20,337	-
岩船コシヒカリ	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	-	-	-	17,743	-
	元年産	17,811	17,917	17,962	17,948	18,101	17,968	18,079	-	-	17,913	-	-
	2年産	17,292	17,276	17,258	17,241	17,226	17,245	17,243	17,194	17,048	16,608	15,678	-
佐渡コシヒカリ	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	-	17,510	-	18,337	-
	元年産	17,834	17,922	17,932	17,919	18,199	18,059	18,137	17,951	-	17,785	-	-
	2年産	17,264	17,273	17,533	17,278	17,229	17,330	17,299	17,132	17,117	16,603	14,701	-

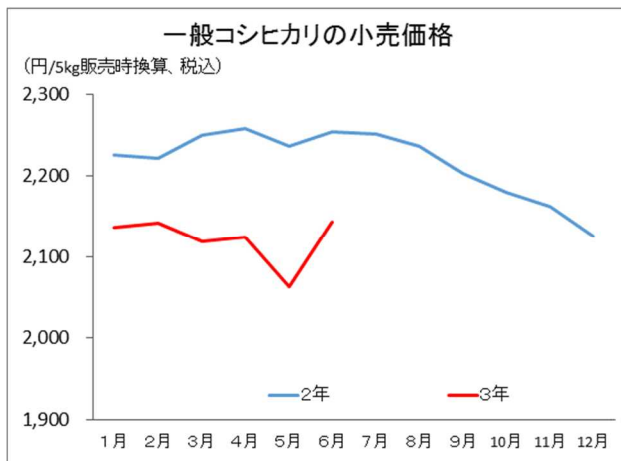
(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

小売価格
(POSデータ)

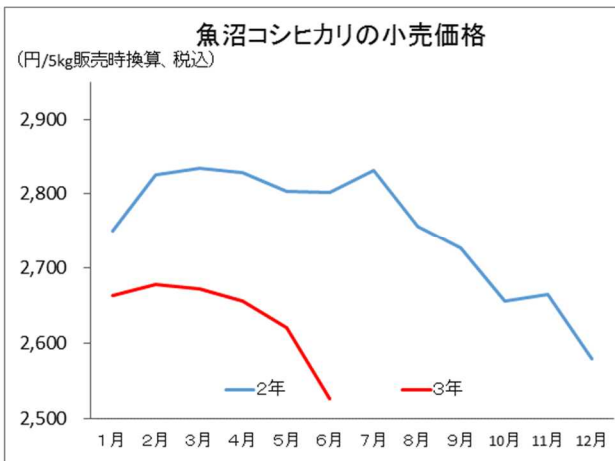
(1)一般コシヒカリ

6月の一般コシヒカリの小売価格は、前年同期に比べ111円下回り、2,143円(5kg袋販売時換算、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

6月の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年同期に比べ276円下回り、2,526円(5kg袋販売時換算、税込)となった。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般コシヒカリ	元年	2,168	2,170	2,174	2,186	2,168	2,213	2,219	2,239	2,258	2,202	2,201	2,220
	2年	2,226	2,222	2,250	2,259	2,236	2,254	2,251	2,237	2,203	2,180	2,162	2,126
	3年	2,136	2,142	2,119	2,124	2,063	2,143						
魚沼コシヒカリ	元年	2,750	2,770	2,772	2,771	2,763	2,778	2,791	2,769	2,802	2,791	2,772	2,698
	2年	2,750	2,825	2,835	2,828	2,803	2,802	2,831	2,756	2,727	2,656	2,665	2,580
	3年	2,663	2,679	2,672	2,656	2,621	2,526						
岩船コシヒカリ	元年	2,244	2,298	2,235	2,276	2,254	2,233	2,199	2,231	2,265	2,220	2,246	2,252
	2年	2,261	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐渡コシヒカリ	元年	2,262	2,289	2,309	2,305	2,308	2,306	2,295	2,280	2,298	2,232	2,218	2,300
	2年	2,278	2,312	2,259	2,357	2,365	2,344	2,384	2,346	2,360	2,262	2,249	2,278
	3年	2,274	2,267	2,285	2,280	2,254	2,242						

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「—」は、当該月の取扱量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

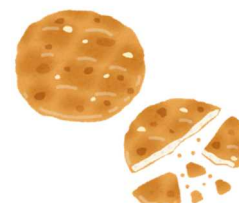
編集後記～「おかき」と「せんべい」～

こんにちは！8月も終わり、いよいよ9月ですね。気温が30度を超える日もまだありますので、熱中症には引き続き気をつけていきたいです。

ところで、新潟といえば米菓がとても有名ですが、皆さんは「おかき」と「せんべい」の違いをご存じでしょうか。答えは原材料に違いがあります！

「おかき」はうるち米からできており、「せんべい」はもち米から作られています。

おかきもせんべいも私の大好物で、食べるとおいしさと食感の良さで中々止まらなくなります。食べ過ぎには気をつけながら食欲の秋を楽しみたいです！

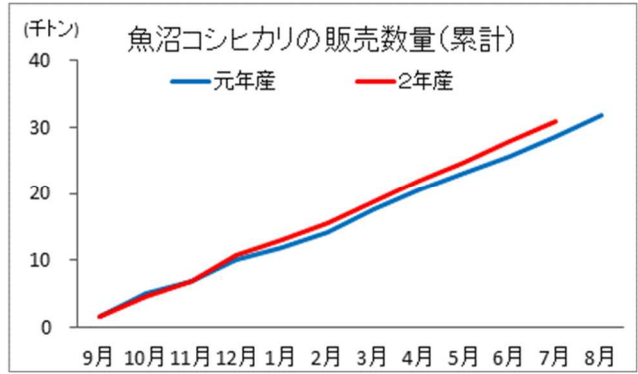
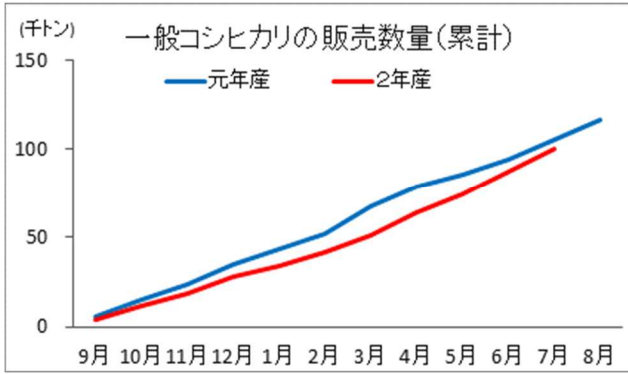


TEL : 025-280-5295

URL : <https://www.niigatamai.info>

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

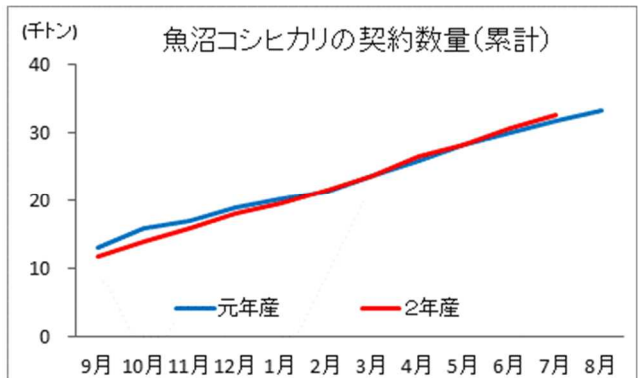
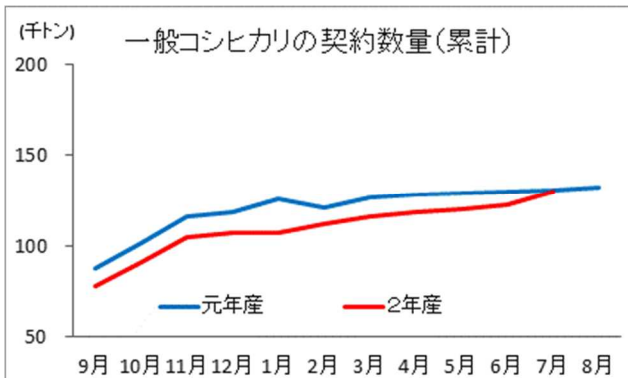
(玄米千トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50.0	59.9	71.7	83.3	91.8	100.3	110.1	118.2
	元年産	5.5	15.2	23.8	34.8	43.7	52.0	67.4	78.7	85.4	94.4	105.3	116.4
	2年産	4.2	12.1	18.7	27.9	34.0	41.5	51.4	64.0	73.9	87	99.7	
魚沼 コシヒカリ	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9	23.3	25.6	27.9	29.7
	元年産	1.5	5.0	6.9	10.0	11.9	14.1	17.5	20.5	23.0	25.6	28.6	31.9
	2年産	1.5	4.5	6.9	10.8	13.1	15.6	18.8	22.0	24.8	28.0	30.8	
岩船 コシヒカリ	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9	7.7	8.4	9.5	10.2
	元年産	0.2	1.4	2.0	3.0	3.6	4.3	5.4	6.6	7.3	8.6	10.2	11.4
	2年産	0.2	1.3	2.0	3.0	3.9	4.5	5.4	6.4	7	7.9	8.9	
佐渡 コシヒカリ	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1	9.0	9.7	10.5	11.1
	元年産	0.4	2.3	3.2	4.1	5.0	6.6	8.3	9.2	10.1	11.0	12.3	13.4
	2年産	0.2	1.7	2.9	4.0	5.0	6.2	7.7	8.7	9.9	11.0	12.0	

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約数量(累計)の推移

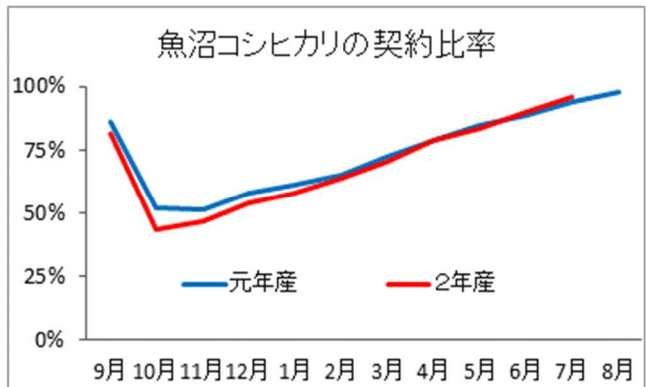
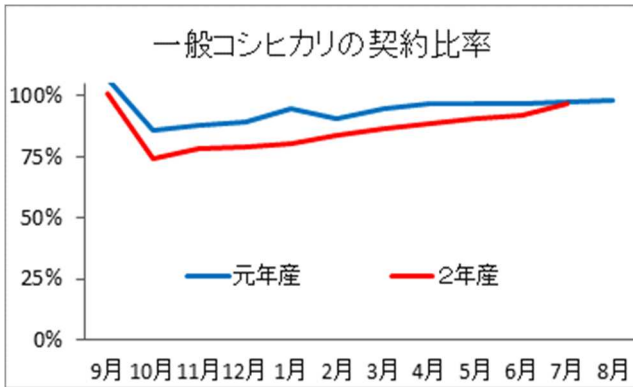
(玄米千トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3	120.9	122.8	124.1	125.5
	元年産	87.7	101.9	115.9	118.9	125.7	120.7	126.6	128.6	129.3	130.1	131.2	132.7
	2年産	77.5	90.8	105.1	107.0	107.4	111.7	116.0	118.6	120.6	122.9	130.1	
魚沼 コシヒカリ	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2	26.8	28.5	30.0	31.1
	元年産	13.0	15.9	16.9	19.0	20.2	21.3	23.8	25.9	28.4	30.1	31.8	33.2
	2年産	11.8	14.0	15.9	18.2	19.6	21.5	23.7	26.6	28.3	30.7	32.6	
岩船 コシヒカリ	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4	10.4	10.4	10.4	10.6
	元年産	9.4	9.5	9.5	9.5	10.4	11.3	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.8
	2年産	8.7	9.0	10.7	10.8	10.5	10.5	10.6	10.6	10.8	11	10.4	
佐渡 コシヒカリ	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4	11.7	11.7	11.7	11.8
	元年産	10.9	11.1	11.3	11.6	12.3	13.4	14.2	14.4	14.2	14.2	14.2	14.5
	2年産	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.3	13.6	13.8	14.1	14.1	14.1	

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約比率



契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	30年産	128%	90%	88%	92%	92%	96%	98%	99%	96%	98%	99%	100%
	元年産	107%	86%	88%	90%	95%	91%	95%	97%	97%	97%	97%	99%
	2年産	101%	74%	79%	79%	81%	84%	87%	89%	91%	92%	97%	
魚沼 コシヒカリ	30年産	125%	75%	77%	81%	68%	74%	78%	82%	86%	91%	96%	100%
	元年産	86%	52%	52%	58%	61%	65%	72%	79%	85%	89%	94%	98%
	2年産	81%	44%	47%	54%	58%	64%	70%	79%	83%	90%	96%	
岩船 コシヒカリ	30年産	555%	109%	108%	108%	107%	107%	107%	101%	100%	100%	99%	102%
	元年産	254%	76%	75%	75%	83%	90%	100%	100%	100%	99%	99%	99%
	2年産	235%	77%	91%	92%	89%	89%	90%	90%	92%	92%	88%	
佐渡 コシヒカリ	30年産	400%	119%	97%	98%	80%	99%	101%	95%	98%	98%	98%	99%
	元年産	198%	93%	78%	81%	86%	93%	98%	100%	98%	98%	98%	100%
	2年産	212%	105%	91%	92%	92%	94%	96%	97%	99%	99%	99%	

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、契約比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。